

◇ロギングソフト(MAS510)で収録したログデータをCSVファイルに変換する方法をご紹介します。

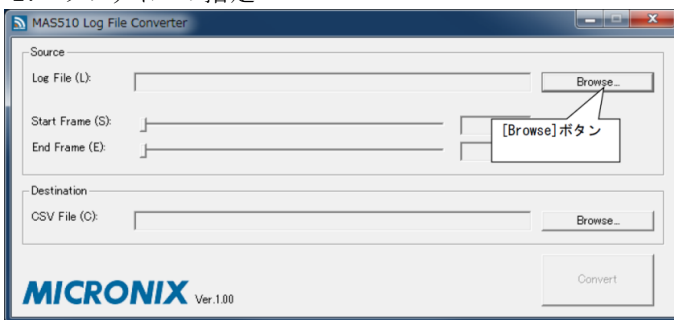
[アプリケーション ~\*Application\* ~]

ロギングソフトウェアとは、スペクトラムアナライザ(MSA500シリーズ)をUSB通信によりPC制御し、スペクトルデータを長時間収録するためのPCアプリケーションソフトです。昼夜に亘る異常信号、妨害、干渉電波などの監視や、長時間の無人データ記録に最適です。ログ(スペクトル)データはバイナリ形式で収録されますので、CSVファイルに変換することで、Excelや他ツールで活用することができます。

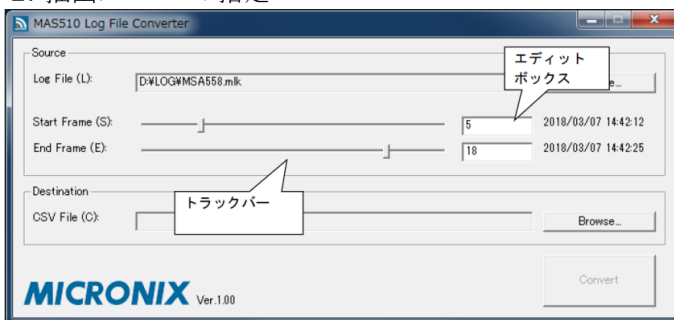
アプリケーション事例 ■2.4GHz帯無線機器導入時のサイトサーベイ  
(<http://www.micronix-jp.com/note/application/servey2.html>)

[ソリューション ~\*Solution\* ~]

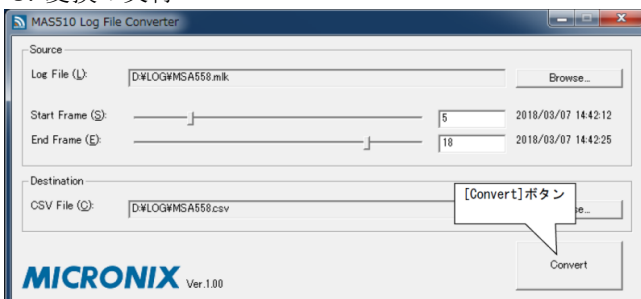
## 1. ログファイルの指定



## 2. 抽出フレームの指定



## 3. 変換の実行

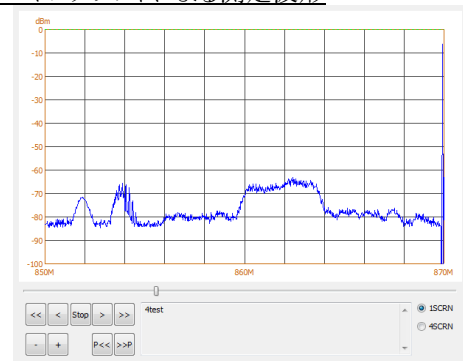


## 4. CSVファイルの中身

	A	B	C	D	E	F	G
1	CF	1.0000GHz					
2	SPAN	20MHz	測定条件部				
3	REF	10.0dBm					
4	SWP	30ms					
5	DET	SMP					
6	RBW	100kHz					
7	VBW	30kHz					
8	SCALE	10dB/D					
9	LmtLv	0.0dBm					
10	TRACE	1.001					
11	DATE	TIME	9.90E+08	9.90E+08	9.90E+08	9.90E+08	9.90E+08
12	2018/3/7	14:42:08	-20.4	-22.4	-27.6	-35.6	-46.4
13	2018/3/7	14:42:09	-61.2	-60	-60	-62	-69.6
14	2018/3/7	14:42:10	-67.2	-76.4	-72	-71.2	-71.2
15	2018/3/7	14:42:11	-77.2	-79.6	-78.4	-74.8	-71.2
16	2018/3/7	14:42:12	-65.2	-64.8	-64.4	-64.4	-65.2
17	2018/3/7	14:42:13	-73.2	-69.8	-66.4	-65.6	-65.6
18	2018/3/7	14:42:14	-66	-64.4	-64	-65.2	-67.2
19	2018/3/7	14:42:15	-63.6	-62.8	-63.2	-64.8	-70
20	2018/3/7	14:42:16	-64.4	-64	-64.8	-66.4	-70.4

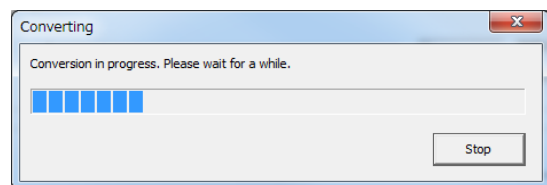
CSVファイルは大きく分けて測定条件部と波形データ部があります。

## ■ロギングソフトによる測定波形



ログファイルに記録されているフレームのうち、CSVファイルに出力するフレームの範囲を指定します。開始および終了フレームそれぞれのトラックバーを左右にスライドするか、またはEditボックスでフレーム番号を指定します。変更しない場合は全フレームが出力されます。

変換を実行します。  
変換中は進捗ダイアログが表示されます。



CF:センター周波数、SPAN:スパン、REF:基準レベル、SWP:掃引時間、DET:検波モード、RBW:分解能帯域幅、VBW:ビデオ帯域幅、SCALE:表示スケール、LmtLv:リミットレベル、TRACE:スペクトルデータ点数

スペアナの測定条件および波形データ(1行目が見出し(周波数)、2行目以降が測定日時と波形データ)